

令和3年度 市有施設のエネルギー使用量

(1) 市有施設のエネルギー使用量の集計

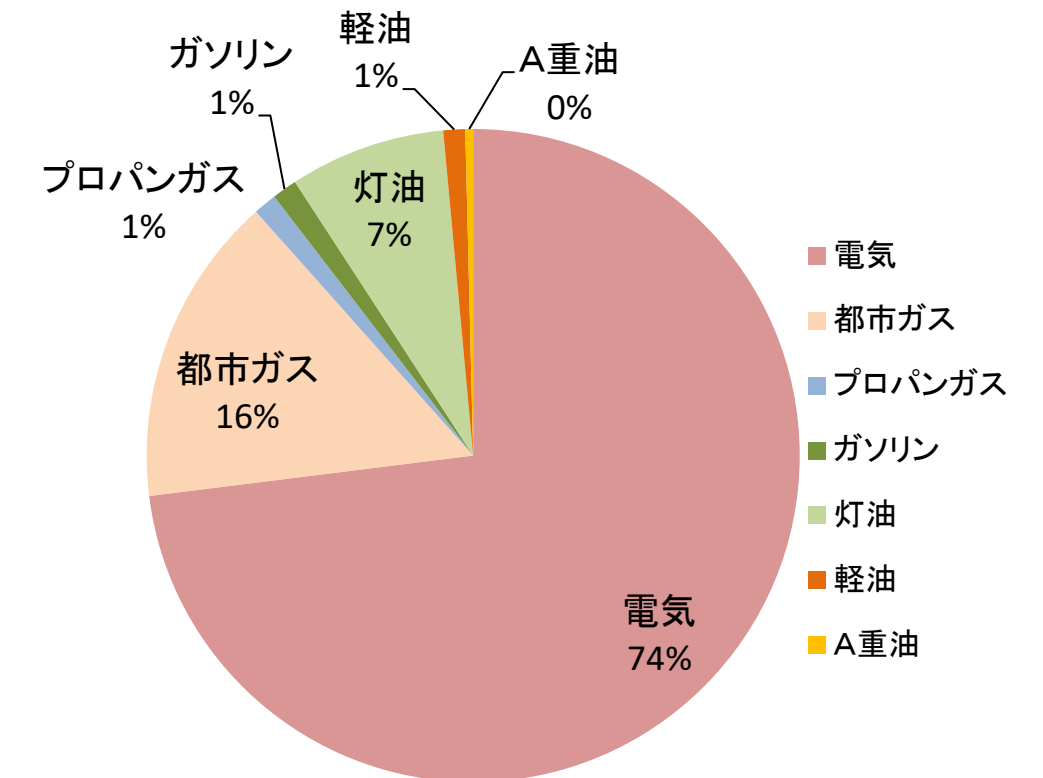
全市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など)における電気、ガス、灯油等と、全庁用車のガソリン、軽油等を集計した。

(2) 市有施設のエネルギー使用量の状況

種類別のエネルギー使用量は、原油換算すると以下のとおり

種類別	令和3年度 報告使用量	令和3年度 原油換算量(kℓ)	令和2年度 原油換算量(kℓ)	対前年度比(kℓ) " (%)	全体に占める 割合(%)	主な増減の理由
電気	83,260 MWh	21,159	20,769	391 (+1.8%)	74%	(増) ・厳冬で暖房の使用が増えたため ・制限の緩和により、施設の利用が増加したこと、及び換気を徹底したことで、冷暖房の効率が低下したため ・アクアウィングのコージェネレーション(発電)設備故障により、電力使用量が増加したため (減) スキー場の廃止や令和3年度から休館した施設があったため
都市ガス	4,011,891 m <sup>3</sup>	4,461	4,224	237 (+5.3%)	15%	(増) 第二学校給食センターが、令和2年度の4月～7月まで工事のため休止していたが、令和3年度は通常稼働したため
プロパンガス	128,370 m <sup>3</sup>	335	348	△ 13 (△3.9%)	1%	(増) 新型コロナウイルス感染症の影響で休館していた施設が再開したため (減) 第三学校給食センターが廃止となったため
ガソリン	402 kℓ	359	350	9 (+2.5%)	1%	(増) 令和2年度に比べて降雪量が多く、小型除雪機の稼働が多かったため
灯油	2,363 kℓ	2,238	2,192	46 (+2.1%)	7%	(増) 新型コロナウイルス感染症の影響で休館していた施設が再開したため
軽油	321 kℓ	312	337	△ 24 (△7.7%)	1%	(減) 新型コロナウイルスの影響で、令和2年度初めに小中学校の休校があり、それを補うため夏休みに登校したことにより、令和2年度の冷房の使用量が多くなったが、令和3年度は通常登校に戻ったため
A重油	111 kℓ	112	198	△ 86 (△43.4%)	1%	(減) ・第三学校給食センターが廃止となったため ・令和2年度は水道施設で、特高設備の点検を行った際の運転を発電機で賄ったが、令和3年度は通常稼働に戻ったため
合計		28,977	28,417	560 (+1.9%)	100%	

令和3年度 市有施設の  
エネルギー種類別構成比(原油換算)



(3) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

令和3年度までの市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移は以下のとおり

年度	使用量
H29	29,262 kℓ
H30	29,480 kℓ
R1	28,898 kℓ
R2	28,417 kℓ
R3	28,977 kℓ

市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

